

令和4年11月5日（土）、兵庫県宝塚市において、関西慶應寮和会第21回定例懇談会が開催されました。「ウイズコロナ」が徐々に定着しつつある中、会員19名に過去最高となるご家族18名を含む計37名の出席により実施に至りました。

＜出席者＞ 19名（会員のみ・敬称略・部分参加も含む）

山本（S38経）	相本（S41法）	酒井（S42法）	松尾（S47経）	三角（S49工）
松本（S50文）	青嶋（S52工）	西村（S53商）	袖岡（S55商）	山代（S55法）
松永（S58工）	阪本（S61商）	小堀（S63商）	竹崎（H02法）	豊田（H03理）
茂木（H03商）	渡邊（H06理）	兵藤（H10理）	四元（H13総）	

I 第1部 宝塚大劇場（15:20～18:00）

今回は、2022関西合同三田会宝塚大会式典、および宝塚慶應倶楽部50周年記念事業として開催された宝塚大劇場貸切公演にて、宝塚歌劇を鑑賞しました。

宝塚歌劇団は、阪急電鉄（箕面有馬電気軌道）創始者の小林一三翁が結成した宝塚唱歌隊を前身とし、1914年に初めての公演を行って以来今日まで人気を集める、未婚女性だけで構成された歌劇団です。

ご存じのとおり塾員でもある小林翁との縁もあってか、定例懇談会での歌劇鑑賞は第3回に続いて2度目となりますが、今回は「希望の明星 仰ぎて宝塚（ここ）に」をテーマとする三田会の公式式典に参加する形での鑑賞となりました。

演目は雪組による「蒼穹の昴」（そうきゅうのすばる）。原作は浅田次郎さんのベストセラー小説で、本公演は初の舞台化となります。東京での千秋楽をもって雪組トップ娘役・朝月希和（あさづきまわ）さんが退団されるという節目の公演であり、加えて当日の公演は雪組にとって初の劇場貸切公演となります。



希望の明星仰ぎて宝塚（ここ）に



宝塚大劇場前でご家族ともども全員集合



大劇場が塾一色の大盛況

「蒼穹の昴」は、19世紀末・清朝末期の紫禁城を舞台に、王朝の中枢にかかわることになる二人の若者を軸とし、それぞれの運命を生きた人々を描く歴史大河ドラマです。身分の違う幼馴染、科挙に挑んだ文秀（うんしゅう）と、生きるためにある決断を下した春児（ちゅんる）。二人を取り巻くのは、西太后、李鴻章、伊藤博文と、誰もがよく知る歴史上の偉人たち。私たちも学生時代の知識を記憶の隅から懸命に引き出しつつ、豪華でダイナミックな舞台を堪能できました。

終演後には雪組トップスター・彩風咲奈（あやかぜさきな）さんが特別に挨拶を下され、「若き血」、「慶應賛歌」が流れる中、出席者全員大満足で劇場を後にしました。

Ⅱ 第2部 総会&懇親会（19:20～21:00）

公演の興奮も冷めやらぬまま、Italian & cafe 月地亭（兵庫県宝塚市）にて、年次総会を兼ね懇親会が開かれました。

青嶋会長の挨拶、ご病気から回復された相本さん、久々にご出席の四元さんからの近況報告に加え、阪急電鉄にお勤めの茂木さんからは、特に1990年代以降における宝塚歌劇団の発展についてお話いただき、大変有意義で楽しい宴席となりました。

Ⅲ 編集後記

新型コロナウイルスの影響もひと段落ついたとはいえ、今回も皆さまお元気にお集りいただくことができました。誠にありがとうございました。

私事で恐縮ですが、今回定例会の翌週、郷里で映画祭運営のお手伝いをしてきました。偶然にも今年のゲストが塾員の大友啓史監督（「龍馬伝」、「るろうに剣心」シリーズ、新春公開の木村拓哉さん主演「THE LEGEND & BUTTERFLY」等）。同学部同期のよしみもあってか、撮影秘話など色々と貴重な話を聴かせていただきました。

2週にわたる「芸術の秋」を経て、塾さらには関西慶應寮和会を通じ、皆さまとともに知的好奇心を満たしていけるよう、改めて知恵を絞ってまいりたいと思います。

今後も楽しく有意義な活動を続けていく所存ですので、皆さまよろしく願います。

以上



宝塚歌劇団 50周年記念事業
宝塚大劇場貸切公演
2022年11月5日(土)
雪組公演

蒼穹の昴

Photographer/下村一喜
グランド・ミュージカル
『蒼穹の昴』
～浅田次郎作「蒼穹の昴」(講談社文庫)より～
脚本・演出/原田 諒
主演 彩風 咲奈、朝月 希和

1階 27列 25番

2022 10.1 Sat. ~ 11.7 Mon.
8月27日(土) 前売開始

Tel. 0570-00-5100
http://www.bh.co.jp/
宝塚大劇場

パンフレットと貸切公演チケット

